最高の幸福の瞬間にも
極度な逆境の瞬間にも、
われわれは芸術家を必要とする。

ゲーテ『親和力』第二部第五章から

美と真実

ART & TRUTH

Vol.3

言葉で表せない感覚 身体で受け止めよ

ジェットコースターが頂点へ上り切るまでは「恐い、恐い」。が、ひと周りしてセーフティバーが外れるころには「まあ平気だったな」。感情が動く前後、人はとかく雄弁だ。では滑降の最中は？　せいぜい奇声を上げるくらい。強烈な体験の渦中は誰しも言葉を失い、身体に響く感覚をひたすら味わうのみ。

「何か描いている時はちょうどそんな状態。何も思わず、時間すら忘れてしまう」

と、美術家の川内理香子。鉛筆や水彩絵具による線描、油彩画を描く時、いずれも筆を動かす間は思考が「無」になる。言葉の届かない境地にいたる。

彼女の作品を前にした者も、同じ気分に誘われる。日頃の行動規範たる「論」や「理」を離れ、身体感覚だけが頼りの世界で存分に遊ぶことができる。G

Unknown behind

川内理香子

紙に水彩、鉛筆
¥50,000、H38×W45.5cm

現在多摩美術大学在籍中ながら資生堂『shiseido art egg賞』『CAF ART AWARD保坂健二郎賞』など受賞多数。（http://rikacocacola.tumblr.com/）（rikako.kawauchi@gmail.com）

 Composition＝山内宏泰 Photograph＝黒田菜月　※『ゲーテ格言集』（新潮文庫／高橋健二編訳）102ページより引用